

「新宿区次世代育成支援計画（平成 22 年度～平成 26 年度）」（素案）
地域説明会における区民意見について

・「新宿区次世代育成支援計画（平成 22 年度～平成 26 年度）」の策定にあたり、平成 21 年 11 月に「素案」を公表し、パブリック・コメント、シンポジウム、地域説明会等を開催し、区民の皆様からご意見・ご提案をいただきました。区では、お寄せいただいたご意見等を参考としながら、計画を策定いたしました。

以下は、地域説明会でのご意見等を整理したものです。

子どもの施策への参画促進

- 「子どもの施策への参画促進」について、小・中学生だけでなく、高校生なども対象としたらどうか。地区協議会の子育て分科会でも色々なことをやろうとするのだが、学校との連携などの課題もある。区民参加が区の大きなテーマであるので、考えたらどうかと思う。

教育・学校

- 学校には車椅子を使用している子どもや、世代間交流で学校を訪れる高齢者がいる。エレベーターや昇降機の設置など、学校のバリアフリー化を考えてほしい。
- PTA 活動について、会議やイベントなどの負担が多いため、担い手が少なくなる現状がある。
- PTA で「お父さんの会」という集まりを行っている。父親中心に夜の会合を開くなどの工夫をすると、父親も参加できるようになる。

公園・公共施設

- 「さくら公園」という公園に、たくさんの子供が集まり、公園が社交場になっており、保護者が安心して遊ばせられる場所になっている。様々な年代が集まり、コミュニティの面からよかったと思う。区内でそういう場所が増やせればいい。
- 図書館の児童コーナーが寂しい。子どもが、図書館で本を見ながら、どれを読むかを定められることが大切だと思う。中央図書館に子ども図書館があるが、地域にもあってほしい。

食育

- 「食育」が計画に記載されている。生きるために「食」は大切である。バランスよく食べて健全な体をつくることを、社会全体で考えていく必要があると思う。

学童クラブ・放課後子どもひろば

- 放課後子どもひろばが充実してくると、子どもは地域ではなく、学校内で長時間過ごすこととなる。安全な場所にいてほしいという保護者の要望と、子どもの生きる力を育てるということが両立できるのか危惧している。
- 放課後子どもひろばは、民間委託ではなく区の直営の方が良かったと思う。委託を受けた事業者の人達があまり定着しないようなので。
- 保護者の中には、放課後子どもひろばは、学童クラブと同様に子どもを預かってもらえると思っている人達がいる。保護者が放課後子どもひろばと学童クラブの違いをよく理解していない。

- 放課後子どもひろばは、大変成果があがっている。最初は心配したが、学校とは離れたところで子どもを見守る人もおり、子ども達も教室とは違う表情を見せている。区内の残りの学校へも広げていきたいので、区の支援をお願いしたい。

保育園・幼稚園・子ども園

- 待機児童ゼロとは、いつの時点で仕事を始めても、短時間勤務であっても、保育してもらえ場所があることだと思う。
- 保育園に入れなくて、就労をあきらめている母親が身近にたくさんいる。そういう潜在的なニーズを区はどこまで見込んでいるのか。マンション等の建設業者に保育施設の確保を要請するとあるが、要請だけでは建ててもらえないのではないか。
- 保育ママについて。条件が厳しいのでなり手がいないのではないか。区がスペースを借上げるなどして、きちんとした研修を受講させ、そこで働いてもらうなどの方法をとれば、もう少し広がる制度ではないか。
- 仕事をしていなくても、子どもを預けたい人もいる。子育て支援に必要なのは、保育園だけではないことを視点として持ってほしい。
- 子ども園ができたことは良いことだと思う。しかし、幼稚園や保育園と小学校とがつながる一貫性のある視点が大切である。教育委員会とよく話し合う必要があると思う。
- 子ども園について、3歳くらいから利用したいと考える母親もいると思うので、3、4、5歳の幼稚園型の子ども園をつくることも、ひとつの考えではないか。
- 少子化の中でも、地域の区立幼稚園を存続させるため、区立幼稚園の学級編成基準を見直してほしい。

外国人

- 区には外国人児童の支援を専門に行っているNPOがあるので活用してほしい。なお、NPOに対して活動するための支援があれば、より活動しやすくなる。

障害児

- 仕事で発達障害の子どもと関わっている。発達障害の概念ができ、支援を必要とする子どもが多くなっている現状がある。気になる子どもがいた時に、療養センターに通うまで段階があり、大事なところが手薄だと感じている。発達支援センターで、そのあたりを充実させてほしい。また保護者支援もあわせて充実させてほしい。
- 区内には特別支援学級がある学校とない学校がある。学級の有無で、特別支援教育に対する温度差や情報格差がある。特に情報に関して、学級がない学校への強化が必要だと感じている。
- 旧東戸山中学校に障害児タイムケアができると聞き、画期的だと思った。新宿養護学校の保護者も待ち望んでいた事業を、満足できる内容にしてもらいたい。

虐待予防

- 家庭は孤立すると大変なので、そこに目を向けてほしい。虐待で助けが必要な子どもがいた場合、近所の人助けたいと思っても、手出しができない現実があるのではないか。血の通った助け方ができる工夫をしなければならない。

地域活動・世代間交流

- 子どものための事業が同じ地域内で、様々な主体によって重複して行われており、連携ができていない。せっかく事業を立ち上げて、子どもの奪い合いのようになってしまい、子どもが集まらないことがある。もっと良い連携の仕方を考える必要がある。
- 育成会と地区協議会で「見守り隊」をつくり、朝、子どもたちに挨拶をしている。挨拶をすることで地域住民の顔がわかる。最近は地域の企業もメンバーに入ってパトロールしてくれる。行政にお願いするばかりではなく、住民も立ち上がる必要がある。それが地域に期待されていることだと思う。
- 「落合三世代交流サロン」は、近隣の子どもや高齢者が出入りしていて素敵な場所だと思った。普段、高齢者と関われない子どもが高齢者と交流できることで、得られるものがあると思う。

情報提供

- 新宿区に様々な子育て支援策があるのはありがたいが、住民にどのようなサービスがあって、どういう時に使えるのか、もっとわかりやすくPRすることが大切。
- 新宿区が子育てしやすいまちだということで、転入してくる人がいる。なかには生活に困っている人も多く、区で受けられるサービスについて知らない人も多い。区で転入時などにサービスの案内をしてけると良い。

危機管理

- 小学校の保護者から出ている意見として、ネットを通じた危機管理情報について。幼稚園や小学校の保護者に危機情報をどう伝えるか。台風の情報や集団下校の情報など、学校単位の情報を安全・安心ネットで保護者に伝えることはできないか。
- 携帯電話やインターネットは、子どもの世代にかなり普及しており、犯罪や思いがけない被害を受けることもある。フィルタリングや啓発活動の普及などは、とても大切なことだと思う。
- 緊急地震速報の設置について、各施設におけるマニュアルの作成や、防災訓練なども必要。
- 自転車の乗り方について。自転車の事故は、高齢者等の事故の中でも高い割合を占めている。特に大人の乗り方がひどい。講習会を開催してきちんとした乗り方を徹底してもらいたい。

環境

- 次世代に生きる子どもに対し、環境についての基本的な教育、啓発活動をすることが大切である。環境は日頃からの積み重ねが大事であり、社会全体で取り組んでいく必要がある。

ワーク・ライフ・バランス

- ワーク・ライフ・バランスについて、企業支援をすることは必要だが、インフォメーションが不足しているのではないかと。制度や支援があることを知らない企業が多いと思う。事業者と直接会って話をするなどが必要。
- ワーク・ライフ・バランスについては重要なことだと思う。この取組みにより若い夫婦がたくさん住めるような区にすれば、出生数も増えてくると思う。
- ワーク・ライフ・バランスが実現された場合、休日に若い世代の家族が区内で過ごせる場所や、仕事が終わってから出かける場所や出会いが地域に必要ではないか。

- 若者が地域活動に出ていきにくい原因のひとつに長時間労働があると思う。自分と同じ世代は仕事が生活のメインで、地域活動どころではない。長時間労働の是正は、様々なことを解決していく突破口になると思う。

その他

- 区では、地域のことをどう考えているのか。子どもにかかわることで、子ども家庭部と教育委員会がある。保護者からみると子どもに関する窓口はひとつであってほしいが、区には担当課が複数あって相談するときに混乱してしまう。会議への参加も数が多く大変である。
- 子どもは親の背中を見て育つものだと思うが、しつけのできない夫婦もいる。親の教育も必要なのではないか。
- 新宿区は、他の区と比較しても支援が充実していることを実感しながら活動している。今後も期待している。
- 地域で育った世代が、また新しく新宿区で家庭をもてれば、世代が繋がっていく。新宿で家を持つことは難しいが、新宿で育った人が新宿を離れたくないと感じてもらえれば...と思う。
- 計画素案について、地区協議会でも色々なコメントが出た。区は様々な子どもへの施策を行っているので、前期計画の目標も達成した。子育てしやすいまちを目指すことは、今後の区の発展のためにも良いことだと思う。住みやすいところに人は集まる。区の努力が実を結んでいると思う。